

Ⅲ

基本計画

第1章 重点プロジェクト

第2章 分野別計画

第1章 重点プロジェクト

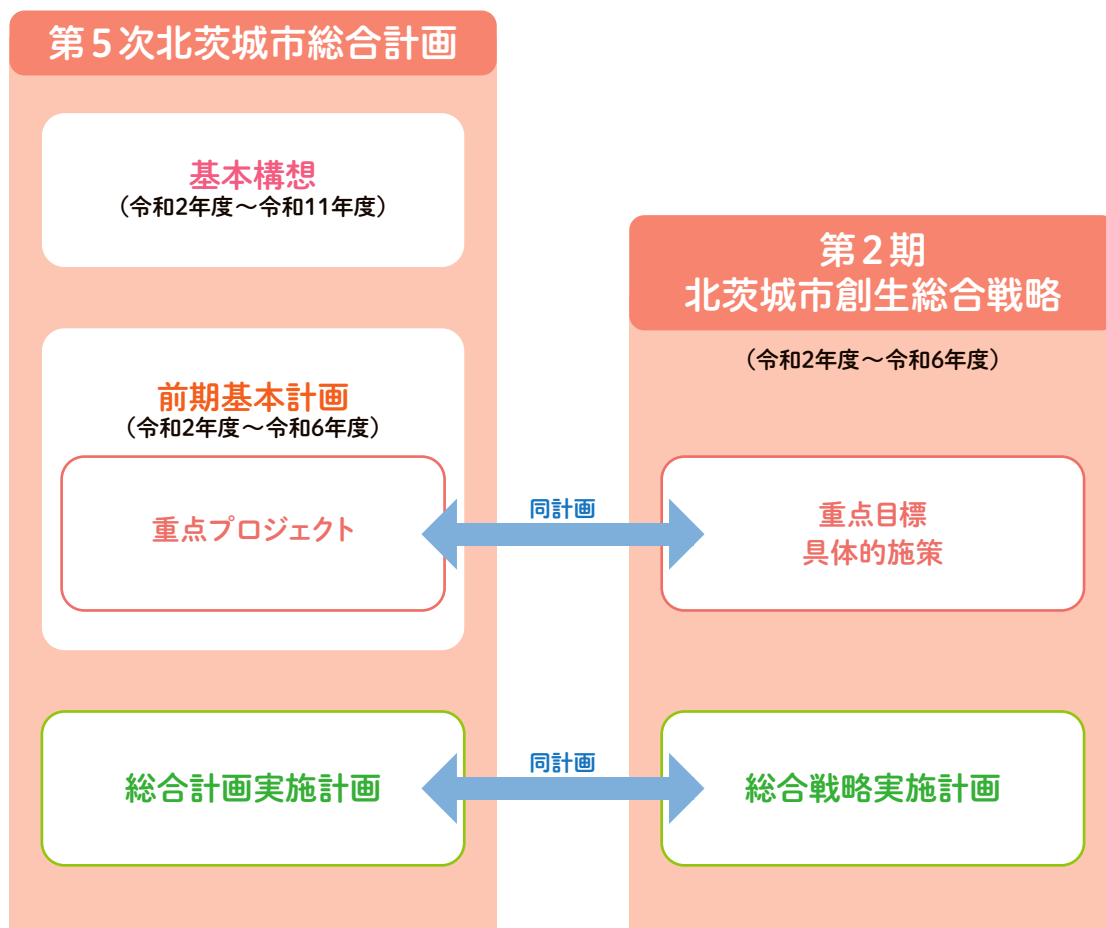
第1節 重点プロジェクトの位置づけ

基本計画は、基本構想に掲げる将来都市像やまちづくりの基本目標を実現するため、各施策の方向性や事業などを示すこととなります。

また、国において人口減少・少子高齢化の進展に対応するため、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が成立。さらに同年12月には、平成27年度から令和元年度までの5か年の施策をまとめた第1期の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されました。

国のこうした動向を踏まえ、本市では、平成28年2月に「北茨城市人口ビジョン・創生総合戦略」を策定し、人口減少・少子高齢化の課題に取り組んできたところです。

令和元年6月に国が示した「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」において、第1期の創生総合戦略の基本目標を維持しながらも、新たな視点を加えた、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に係る方向性が示されました。地方自治体においても、国の総合戦略を勘案し、切れ目のない地方創生への取組みが求められ、本市においても引き続き人口減少・少子高齢化を重要な課題と考え、「第2期北茨城市創生総合戦略」を策定することとし、その策定にあたっては、前創生総合戦略に掲げた基本目標を引き継ぐ重点目標・具体的施策を前期基本計画の重点プロジェクトとして位置づけました。





第2節 重点プロジェクトの展開 (第2期北茨城市創生総合戦略)

本市は、全国的な傾向と同様に、人口減少が進むとともに、平成27年の国勢調査で高齢化率が30.0%と、全国平均26.6%を上回るなど少子高齢化が進行しています。

そのような中、市民と協働して、将来にわたって活力ある地域社会を維持していくため、4つの重点目標と具体的施策からなる重点プロジェクトを推進し、人口・経済・地域社会の課題に取り組むこととします。

重点目標	具体的施策
I 安定した雇用を創出する	<ol style="list-style-type: none"> 1 企業誘致等の推進 2 中小企業の競争力強化 3 農林水産業の振興
II 新しい人の流れをつくる	<ol style="list-style-type: none"> 1 観光の振興 2 移住・定住の促進 3 芸術によるまちづくり(関係人口の創出)
III 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえとともに、誰もが活躍できる地域社会をつくる	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育・保育施設の充実 2 子育て環境の整備 3 給食費の無償化 4 男女共同参画意識の啓発 5 地域包括ケアシステムの強化 6 生涯学習の推進
IV 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、他の地域と連携する	<ol style="list-style-type: none"> 1 マイナンバーカードの普及推進 2 地域公共交通の充実 3 健康都市づくりの推進 4 一般廃棄物処理の広域化

重点目標Ⅰ 安定した雇用を創出する

基本的な方向

- 産業振興を図るため、企業誘致や新分野の進出・新規創業を支援するとともに、地域産業を支える中小企業の商品開発や販路開拓等を支援します。また、中小企業における人材確保のため、高校卒業者などの地元への就職を推進します。
- 農林水産業については、地域資源を活かし、農林水産物のブランド化、6次産業化を図ります。また、農林水産業と観光業等の連携を通じた産業振興に努めます。

成果目標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
南中郷工業団地の分譲率	92.3% ▶▶	100%
新規就農総合支援事業対象人数(年当たり)	2人 ▶▶	2人

具体的施策と目標指標

① 企業誘致等の推進

企業誘致や、既に進出している企業の増設等への財政支援を行うことで産業の活性化を図り、雇用を創出します。

▶ 目標指標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
誘致・増設企業数(年当たり)	2企業 ▶▶	2企業

② 中小企業の競争力強化

中小企業に対し商品開発や販路開拓を支援するとともに、市商工会と連携し経営講習会の開催や創業に向けた知識を身につけるための創業スクールの開設などを行います。また、高校生などの地元企業への就職を推進するため、市商工会・ハローワーク高萩と連携した取組みを推進します。

▶ 目標指標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
商品開発・販路開拓等支援補助件数(年当たり)	2件 ▶▶	3件
創業・第二創業スクール受講者数(年当たり)	4人 ▶▶	6人
高校生就職面接会開催数(年当たり)	2回 ▶▶	2回

③ 農林水産業の振興

農林水産業従事者の高齢化に対応するため、雇用の場の創出・技術継承機会の確保や就業支援を行うとともに、国の支援策が集中する認定農業者の増加を図ります。また、遊休農地等の拡大を防ぐため、飼料米等への転作に対する助成を引き続き行います。

▶ 目標指標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
認定農業者数	42人 ▶▶	47人
飼料作物等の生産面積	265 ha ▶▶	265 ha

重点目標Ⅱ 新しい人の流れをつくる

基本的な方向

- 新たな地域資源の発掘などにより、観光資源に磨きをかけ、ブランドの再構築を図り、魅力ある観光地域づくりを推進します。
- 移住や二地域居住の希望者の視点に立ち、情報提供や移住に興味をもてる魅力あるまちづくりに取り組みます。また、地域外にあって、特定の地域への継続的な関心と交流を通じ、様々な形で地域と係わりあいをもつ「関係人口」の創出に努めます。
- 生涯学習センター分館「期待場」を拠点に、本市が有する芸術的な風土・資源を活かした「芸術によるまちづくり」を推進します。

成果目標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
市町村間人口移動数(人口社会減数)	△215人 (平成27～30年度平均)	△150人 (令和2～6年度平均)

具体的施策と目標指標

① 観光の振興

地域の個性を活かした魅力ある観光地域づくりを推進するため、既存の観光資源をさらに充実させるとともに、今までにない新しい観光資源を発掘し、魅力あふれる観光商品の提供に努めます。また、本市の各種観光情報を発信する観光協会ホームページの内容の充実を図り、発信力の強化に努めます。

▶目標指標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
新たな観光資源の発掘(平成27年度以降)	2個	5個
観光協会ホームページアクセス数	633,586件	700,000件

② 移住・定住の促進

住居等の生活面や求人等に必要となる情報を一括して提供できる体制(移住コンシェルジュ)の充実に取組むとともに、今後増加することが予想される空き家を活用した移住促進に努めます。また、全国移住ナビを活用した情報発信などを引き続き行うとともに、移住交流セミナーやツアーなどの実施により、本市の魅力を発信します。

▶目標指標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
移住コンシェルジュ相談件数(年当たり)	28件	35件
空き家バンク登録件数(累計)	39件	100件
空き家バンク契約成立件数(累計)	20件	50件
移住セミナー参加者数(年当たり)	32人	40人
移住・交流ツアー参加者数(年当たり)	20人	20人

③ 芸術によるまちづくり(関係人口の創出)

芸術によるまちづくりを推進し、新たな関係人口の創出に努めるとともに、芸術活動をしている方の滞在製作や二地域居住の促進を図ります。

また、芸術を活用した地域づくりを推進し、高齢化が進む地域の再生・活性化を図ります。

▶目標指標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
生涯学習センター分館「期待場」アトリエ入居率	60% ▶▶	100%
生涯学習センター分館「期待場」ギャラリー入館者数(年当たり)	7,244人 ▶▶	8,000人

重点目標Ⅲ

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるとともに、誰もが活躍できる地域社会をつくる

基本的な方向

- 結婚・妊娠・出産・子育てについて、切れ目のない支援を行い、子どもを安心して産み育てられる環境を整備します。
- 女性の活躍等の観点から、男性の家事・育児への参画などの啓発を行い「ワーク・ライフ・バランス」の実現を目指します。
- 誰もが住み慣れた地域で、自分らしい暮らしが続けられるよう、医療・介護・予防・生活支援が包括的に提供される地域包括ケアシステムの充実に努めます。
- 団塊の世代をはじめ、元気な高齢者が地域で活躍する場が増えることが予想されるため、高齢者を含めた市民の生涯学習活動の場の充実に努めます。

成果目標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
合計特殊出生率	1.42 ▶▶	1.57

具体的施策と目標指標

① 教育・保育施設の充実

就労する女性の増加に伴い、仕事と子育ての両立ができるよう、教育・保育施設の利用定員の確保を図ります。

▶目標指標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
待機児童数(0歳児)	0人 ▶▶	0人を維持

② 子育て環境の整備

子育て世代や子どもの安心感、子育てに対する不安感の解消を図るため、地域子育て支援拠点施設の充実を図るとともに、女性が働きながら安心して子育てできる環境の整備を推進します。

▶ 目標指標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
放課後児童クラブ定員数	374人	500人
病後児保育事業利用者数(延べ)	76人	132人

③ 給食費の無償化

子育て世代の経済的負担を軽減するため、小・中学校給食費無償化を段階的かつ計画的に進めます。

▶ 目標指標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
給食費無償化(達成率)	-	100%

④ 男女共同参画意識の啓発

男女共同参画意識や男性の家事・育児への参画などの啓発を行います。

▶ 目標指標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
男女共同参画講座・研修会開催数(年当たり)	2回	5回

⑤ 地域包括ケアシステムの強化

元気ステーションを中核とし、医療・介護・予防の連携を図ることで、地域包括ケアシステムのさらなる強化を図り、すべての人が健康で生き生きと暮らせるよう、疾病・介護予防や健康増進に向けた取組みを推進します。

▶ 目標指標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
元気ステーション相談件数(年当たり)	1,482件	1,600件

⑥ 生涯学習の推進

生涯学習センターを拠点とし、地域に根ざした生涯学習活動や市民の自主的な活動を支援します。

▶ 目標指標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
生涯学習センター「とれふる」利用者数(年当たり)	9,338人	11,600人

重点目標Ⅳ

時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、他の地域と連携する

基本的な方向

- ICT（情報通信技術）が急速に進展し、今後もICTの高度化が進むと予想されるため、市民の誰もがICTの利便性を実感できる環境づくりに努めます。
- 地域公共交通については、高齢化により運転免許を返納する市民が増加するなど、さらなる対応が求められるため、地域公共交通の利便性向上等に努めます。
- いきいき茨城ゆめ国体の開催などを契機に、市民のスポーツ・レクリエーション活動を充実させ、スポーツを通じた健康増進を推進します。
- 人口減少に対応した行政運営が求められる中、一般廃棄物処理施設の整備について、高萩市と共同で施設整備事業を行います。

成果目標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
北茨城市に住み続けたいと感じる市民の割合	85.2%	90.0%

具体的施策と目標指標

① マイナンバーカードの普及推進

安全・安心で利便性の高いデジタル社会を実現するため、マイナンバーカードの普及を推進します。また、マイナンバーカードの利便性向上・利活用シーンの拡大に努めます。

▶ 目標指標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
マイナンバーカードの交付率	11.8%	100%
コンビニエンスストアにおける証明書等の自動発行(コンビニ交付)の実施	-	実施

② 地域公共交通の充実

「地域公共交通会議」などを通じて、市巡回バスや地域交通利用券(タクシー券)助成事業など地域公共交通のあり方について、継続的に検討します。

▶ 目標指標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
市巡回バス利用者数(年間延べ人数)	70,632人	71,200人
地域交通利用券(タクシー券)助成事業登録者数	2,747人	2,800人

③ 健康都市づくりの推進

身近な場所で気軽にスポーツができる環境を整備し、子どもから高齢者までが参加できるスポーツ教室やニュースポーツを取り入れた事業を開催するとともに、市民がスポーツに参加する機会を提供し、スポーツを通じた健康増進を推進します。

▶ 目標指標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
スポーツ大会の参加者数(実人数)(年当たり)	5,250人	6,800人

④ 一般廃棄物処理の広域化

老朽化している清掃センターの更新について、高萩市との共同で、新ごみ処理施設の整備を行い、処理業務を両市共同で行います。

▶ 目標指標

項目	実績値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
新ごみ処理施設整備	-	設置